

環境に関する事業所アンケート調査結果 (中間報告)

平成22年8月実施

北広島市市民環境部環境課

1 調査のあらまし

(1) 目的

事業者の環境に対する意識、環境保全等に対する傾向を調査する目的で実施した。前回の調査（平成10年度）と同様の設問も一部用意し比較も行う。

(2) 調査方法

- 調査地域 北広島市全域
- 調査対象者 北広島市に立地する事業所
- サンプル数 200
- 抽出方法 商工会会員名簿及び市の工業振興課の資料を元に無作為に抽出
- 実査方法 調査票を郵送し、同封した返送用封筒により郵送回収
- 調査期間 平成22年8月11日～8月31日
- 回収数（率） 83（41.5%）

(3) 回答者の基本情報について

① 回収した調査票の地区別構成

地区	発送件数	比率（%）	回収件数	回収率（%）
東部地区	79	39.5	24	30.4
大曲地区	76	38.0	31	40.8
北広島団地地区	24	12.0	19	79.2
西の里地区	10	5.0	5	50.0
輪厚地区	11	5.5	2	18.2
（不明）			2	
合計	200	100	83	-

② 回収した調査票の業種

	回収件数	構成比（%）
建設業	22	26.5
製造業	14	16.9
卸売小売業	10	12.0
運輸通信業	9	10.8
飲食店・宿泊業	1	1.2
医療・福祉	2	2.4
サービス業	15	18.1
回答なし	10	12.1

2 調査結果

質問2 環境保全に関する取り組みとして、貴事業所が実践している状況を①～⑬のそれぞれの項目について、あてはまる状況に1つだけ○印をご記入下さい。

(単位 %)

項目	取り組んでいる	取り組む予定でいる	取り組む予定はない	わからない
業務や通勤での自動車使用を極力控え、公共交通機関を利用するように従業員に指導している。	15.4	9.0	69.2	6.4
自動車のアイドリングストップを実践している。	64.6	11.4	19.0	5.1
低公害車の導入を進めている。	24.1	26.6	36.7	12.7
事業者内での廃棄物の再資源化、減量化に取り組んでいる。	85.4	8.5	1.2	4.9
環境に配慮した、再生品などの物品や原材料を使用している。	59.2	13.2	7.9	19.7
冷暖房の温度設定や照明などに気をつけて、省エネに努めている。	82.9	11.0	3.7	2.4
節水に努めるよう従業員に指導している。	71.8	11.5	10.3	6.4
事業所周辺の緑化を行っている。	35.9	21.8	24.4	17.9
建物の高さ、色彩、デザインを周辺の景観と調和させている。	24.4	6.4	35.9	33.3
環境ボランティアや環境に関する市民活動に参加、支援、協力している。	27.3	29.9	24.7	18.2
事業所内で環境に関する学習を行っている。	21.3	26.7	33.3	18.7
ゴミの減量・適正化などの計画をたてている。	52.5	27.5	8.8	11.3
環境保全行動計画をたてている。	13.0	24.7	27.3	35.1

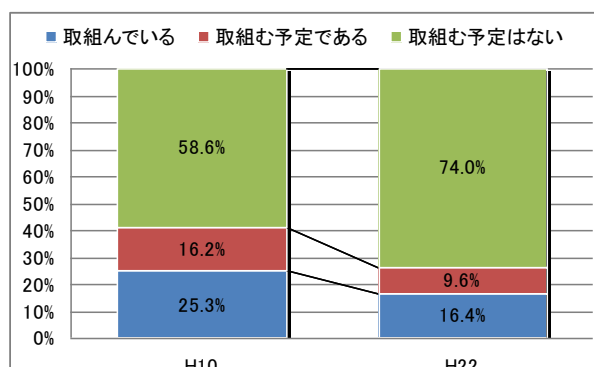
- ・ 環境保全のための取り組みとして、もっとも多かったのは「事業者内での廃棄物の再資源化、減量化に取り組んでいる」の 85.4%で、続いて「冷暖房の温度設定や照明などに気をつけて、省エネに努めている」の 82.9%、「節水に努めるよう従業員に指導している」71.8%となっている。
- ・ 公共交通機関の利用については、地区によっては自動車に頼らざるを得ないこともあり、「取り組む予定はない」が7割近くを占めるが、アイドリングストップの実践は約2／3の事業所が実施しており、また、低公害車の導入は約半数が「取組んでいる」または「予定」であり比較的関心

が高い。

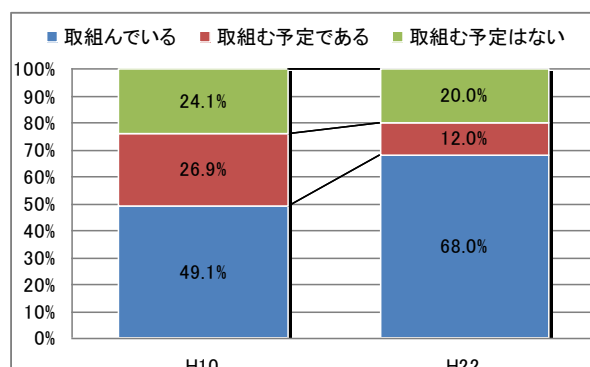
- ・ 廃棄物の再資源化や減量化については「取組んでいる」が85.4%と、ほとんどの事業所がすでに取組んでいる状況である。また省エネ、節水についても多くの事業所が取組んでいる。
- ・ 環境に配慮した物品等の使用については6割近くが取組んでいるが、「わからない」と答えた事業所も約2割あり、情報の提供などが必要と思われる。
- ・ 緑化については1/3以上が取組んでおり、取組み予定を加えると半数を超えるなど、一定の関心があるが、景観との調和については「予定なし」と「わからない」で6割を超えるなど、重要視していない事業所が多い。
- ・ 環境に関する学習については、まだ取組んでいる事業所少ないが、「わからない」と答えた事業所も2割近くおり、こちらも情報提供などの支援が必要があると思われる。
- ・ ゴミの減量、適正化については約半数が計画を立てており、比較的関心が高いが、環境保全行動計画については約1/3が「わからない」と回答し、約1割の策定にとどまっている。

【平成10年調査との比較】

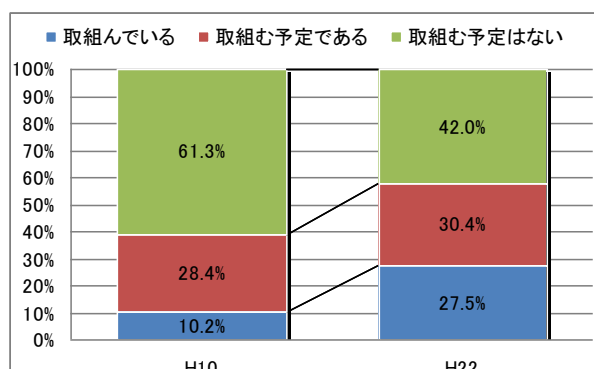
- ・ 平成10年の調査と比較した場合に、ほとんどの項目で取組みが推進されてきている傾向にある。
- ・ また、環境学習では「取組む予定」が「取組んでいる」に移行している状況がうかがえる。
- ・ しかし、公共交通の利用促進、事業所周辺の緑化、周辺景観との調和に関しては、「取組む予定がない」割合が本調査の方が高くなっている。



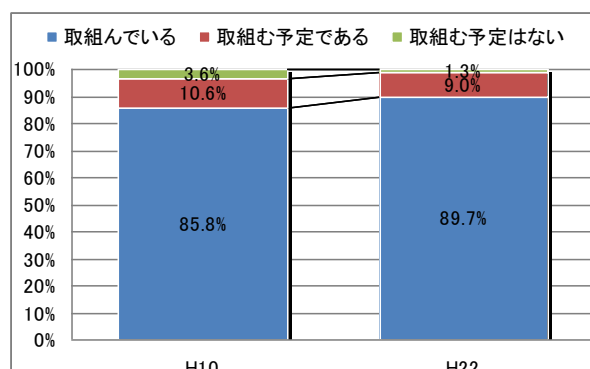
[公共交通の利用促進]



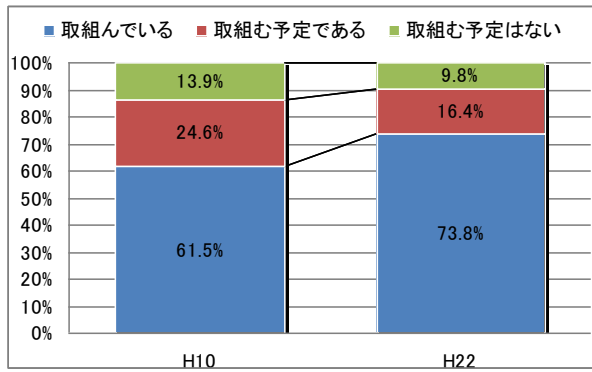
[アイドリングストップ]



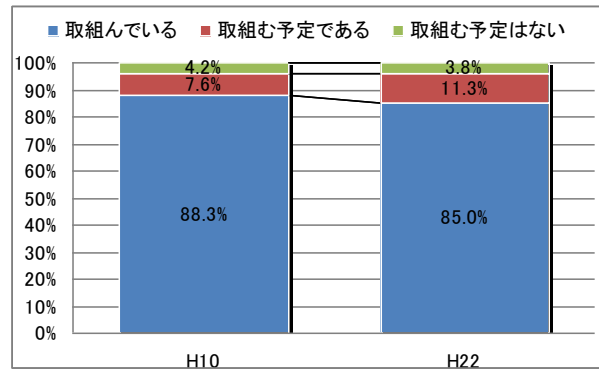
[低公害車の導入]



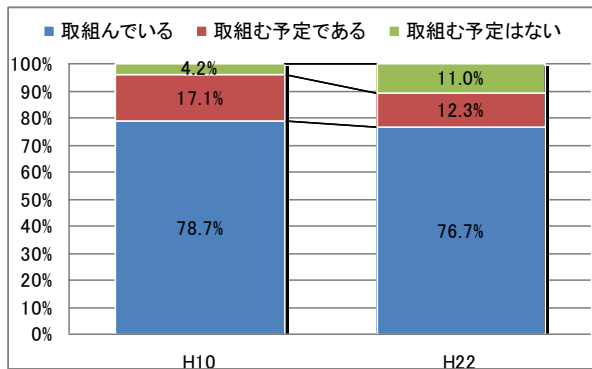
[廃棄物の再資源化・減量化]



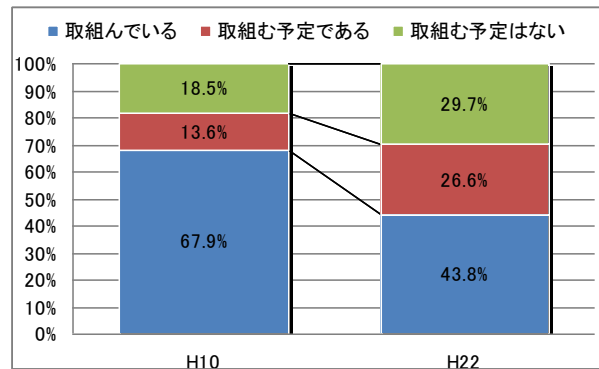
[環境配慮の原材料などを使用]



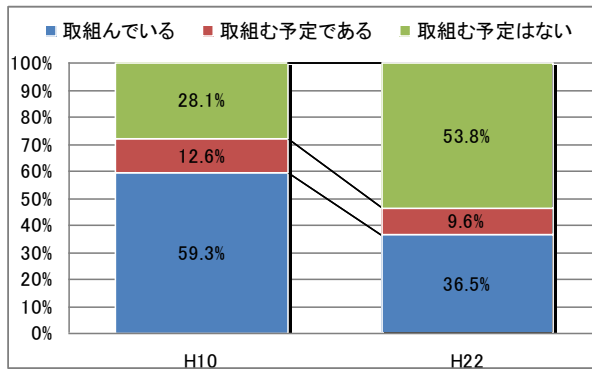
[省エネの推進]



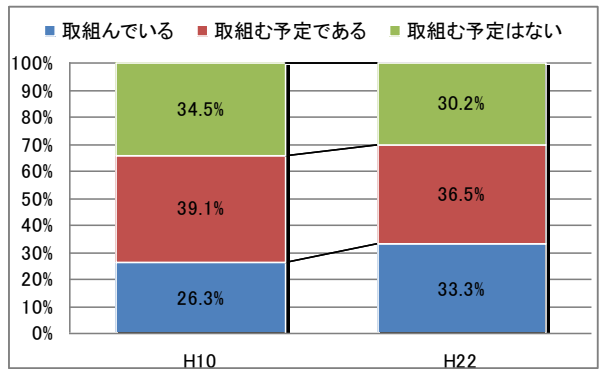
[節水の指導]



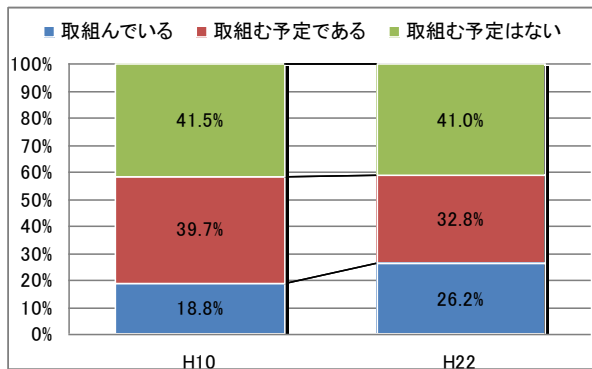
[事業所周辺の緑化]



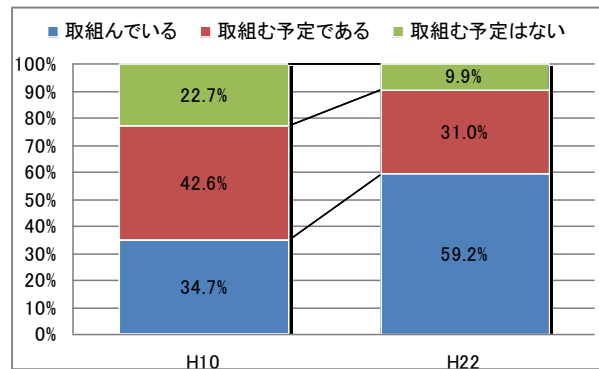
[周辺景観との調和]



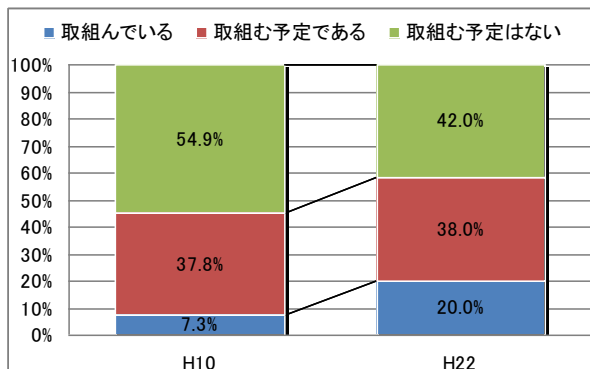
[市民活動への参加]



[環境学習の実施]



[ごみの減量・適正化の計画策定]



[環境保全行動計画の策定]

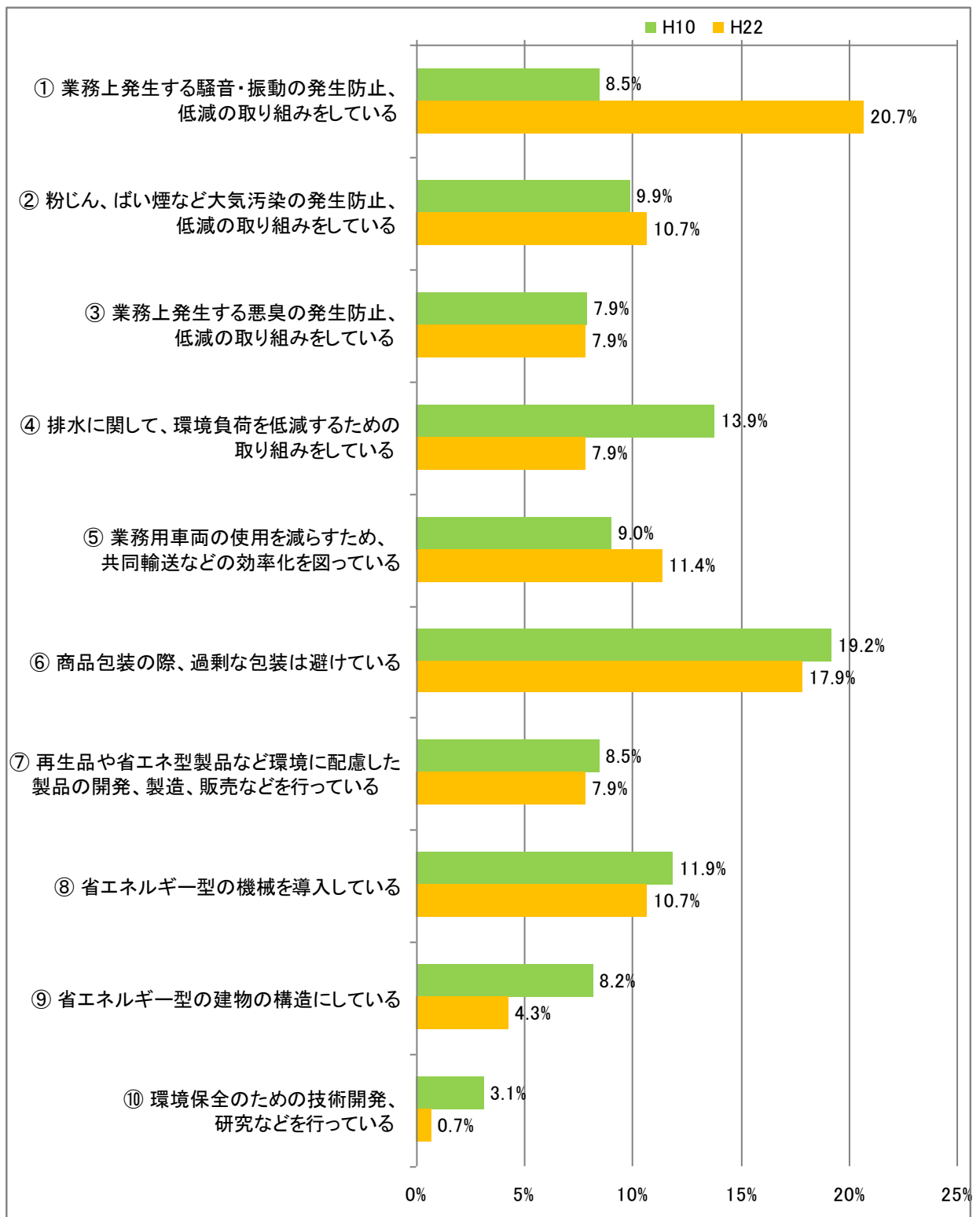
質問3 質問2以外の環境保全の取り組みについて、伺います。下記の①～⑪の中で、貴事業所における取り組みがございましたらあてはまるもの全てに○印をご記入下さい。また、その他の場合は具体的内容をご記入下さい。

項 目	件 数
① 業務上発生する騒音・振動の発生防止、低減の取り組みをしている	29
② 粉じん、ばい煙など大気汚染の発生防止、低減の取り組みをしている	15
③ 業務上発生する悪臭の発生防止、低減の取り組みをしている	11
④ 排水に関して、環境負荷を低減するための取り組みをしている	11
⑤ 業務用車両の使用を減らすため、共同輸送などの効率化を図っている	16
⑥ 商品包装の際、過剰な包装は避けている	25
⑦ 再生品や省エネ型製品など環境に配慮した製品の開発、製造、販売などを行っている	11
⑧ 省エネルギー型の機械を導入している	15
⑨ 省エネルギー型の建物の構造にしている	6
⑩ 環境保全のための技術開発、研究などを行っている	1
⑪ その他	2
合計	142

- ・ もっとも多い取り組みは「①騒音・振動防止」で次に「⑥過剰包装を避ける」、「⑤共同輸送などの効率化」と続く。
- ・ その他の2件は「省エネルギー電球への移行」「ISO14001取得」であった。

【平成10年度との比較】

- ・ 商品包装の抑制については、何れの調査においても比較的高い位置づけとなっている。
- ・ 環境保全のための技術開発や研究については何れも比較的低い順位位置づけであり、今回の調査では特に低い割合となっている。
- ・ また、騒音・振動の防止への意識は平成10年と比較すると高い位置づけとなっているが、企業立地の変遷と合わせて分析が必要である。
- ・ 排水の環境負荷低減への取り組みは、平成10年よりも位置づけが低くなっていることがうかがえる。



※両調査において回答数で正規化し、合計で 100%となるよう調整した。

質問4 貴事業所における環境マネジメントシステムの取り組み状況についてお答え下さい。下記の環境マネジメントシステムについて、実施状況を（ア）～（オ）からあてはまるもの全てに○印をご記入下さい。また、（オ）を選択の場合はその理由をご記入下さい。

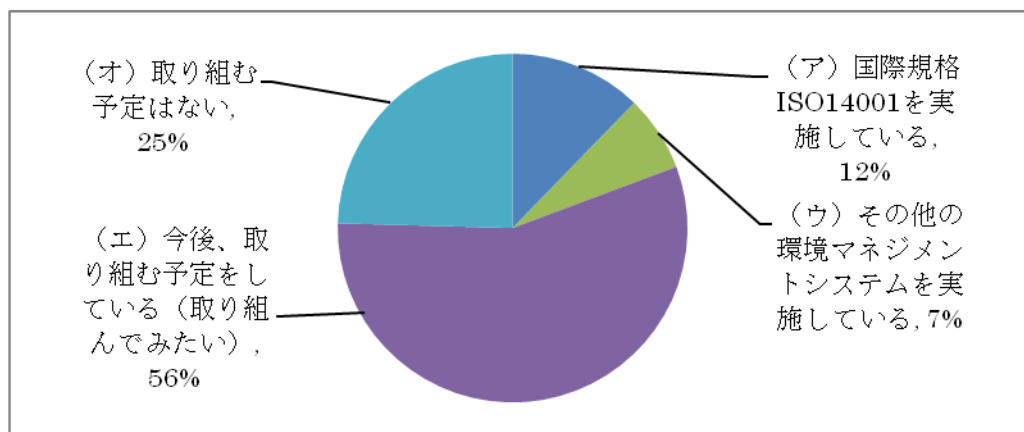
項 目	件数
（ア）国際規格 ISO14001 を実施している	7
（イ）北海道環境マネジメントシステムスタンダード（HES）を実施している	0
（ウ）その他の環境マネジメントシステムを実施している（具体名： ）	4
（エ）今後、取り組む予定をしている（取り組んでみたい）	32
（オ）取り組む予定はない（理由： ）	15

- ・ ISO14001 の認証を受けている企業は回収企業中 7 件で、約 1 割が実施している。
- ・ 北海道環境マネジメントシステムスタンダード（HES）の取り組みはなかった。
- ・ その他のマネジメントシステムを実施していると答えたところについては、「グリーン経営認証」が 2 件、その他は独自の取組などの回答があった。
- ・ 取り組む予定が無いと答えた事業所の理由については、「小規模」、「手が回らない」、「経営が苦しくそれどころではない」など、環境保全に取り組む余裕がないという回答が多かった。

質問5 これからの時代は、地球温暖化防止のための二酸化炭素排出量削減対策やごみの減量化・適正化など、個人、企業とも、より多くの環境への配慮が求められる時代になると思われます。環境保全に向けた企業としての考え方で、貴事業所の考えに一番近いものはどれですか。
1つを選び○印をご記入下さい。

項 目	件 数	比率(%)
（ア）環境対策はかなり重視している	13	16%
（イ）環境対策をやや重視している	44	54%
（ウ）どちらともいえない	23	28%
（エ）環境対策はあまり重視していない	0	0%
（オ）環境対策は後回しである	1	1%

- ・ 環境に対する考え方は、「環境対策をやや重視している」が半数以上を占めており、「環境対策はかなり重視している」と合わせると 70%の事業所が「環境対策を重視」と回答している。
- ・ 「重視していない」、「後回し」と回答した企業は非常に少なく、1%程度である。



質問6 市が取り組むべき企業の環境対策への支援・助成について、貴事業所として必要と考えるものについて、次のうちから1つを選び○印をご記入下さい。

項目	件数	比率
(ア)環境負荷低減のための設備投資に関する助成や融資(ソーラーパネルの設置など)	22	32%
(イ)環境マネジメントシステムの認証(システム導入にあたっての支援や補助など)	5	7%
(ウ)従業員への環境教育(勉強会や出前講座の開催など)	8	12%
(エ)緑化の推進(苗木の提供や補助など)	12	17%
(オ)環境配慮の取り組みに関する情報提供・情報発信	21	30%
(カ)その他	1	1%

- ・最も多かった回答は「環境負荷低減のための設備投資に関する助成や融資」で32%、続いて「環境配慮の取り組みに関する情報提供・情報発信」が30%、大きく離れて「緑化の推進」が17%で3番目となっている。

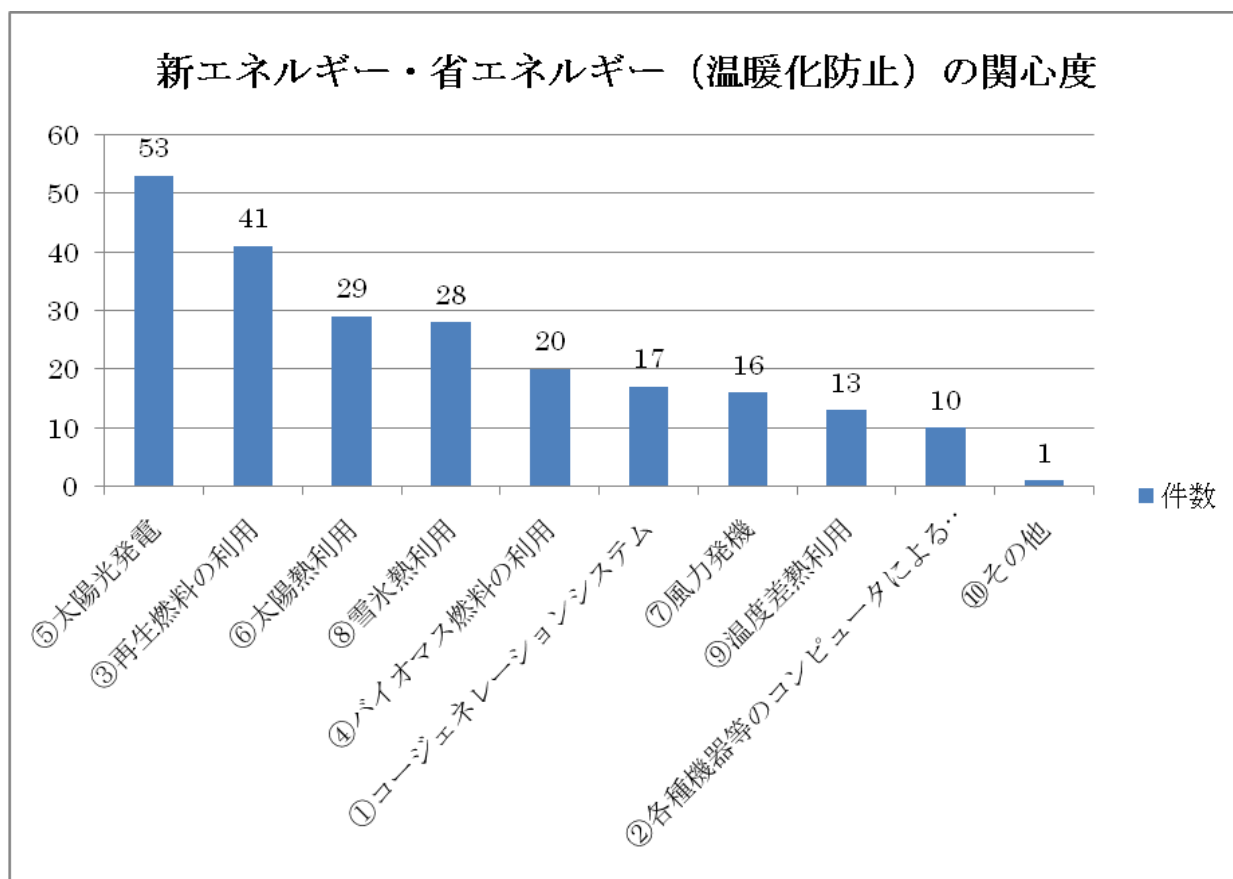
質問7 地球温暖化防止の取り組みとなる新エネルギーや省エネルギーシステムについてお答え下さい。

次の(1)及び(2)について下記の【選択肢群】①～⑩からあてはまる番号を選んで回答欄にご記入下さい。「⑩その他」を選択の場合は、内容をご記入下さい。

(1) 選択肢の中で関心の高いシステムについて、上位3つまで番号をご記入下さい。

項目	1位	2位	3位	合計	順位
①コージェネレーションシステム	10	2	5	17	6
②各種機器等のコンピュータによる最適制御	1	3	6	10	9
③再生燃料の利用	21	12	8	41	2
④バイオマス燃料の利用	5	10	5	20	5
⑤太陽光発電	26	14	13	53	1
⑥太陽熱利用	11	12	6	29	3
⑦風力発電	3	10	3	16	7
⑧雪氷熱利用	1	9	18	28	4
⑨温度差熱利用	1	5	7	13	8
⑩その他	1	0	0	1	10
合計	80	77	71	228	

- ・最も関心の高いシステムは「太陽光発電」で、これに「再生燃料の利用」、「太陽熱利用」、「雪氷熱利用」と続く。
- ・1位～3位までの順位付けを加味し、上位ほど重視するよう係数を乗じると、票数差の少ない4～6位で順位変動があるが、上位3位までに変更はない。



(2) 選択肢の中で既に取り組んでいるシステムがありましたら、あてはまる番号全てをご記入下さい。
また、導入しているシステムについて特徴的な内容などがあれば、ご記入下さい

・再生可能エネルギーの導入は、3事業所で導入ありと回答があった。内容は、太陽光発電1件、コージェネレーション1件、ヒートポンプ1件、再生燃料2件。(1事業所で複数導入あり)

質問8 北広島市の環境について、日頃から感じていることや環境行政に対して思うこと、企業として環境配慮の取り組みを進める上での課題など、ご意見などありましたら、ご自由にご記入下さい。

・13件の回答があり、ごみや除雪などに関する意見等があった。

意見・要望等
産業廃棄物の種類及び処理方法等が余り分からない。事業所への広報を活発にしてほしい。
ごみ処理場の焼却処理場の話が頓挫した時に市内含め北広島市のみで環境を考え話を進められなかったか？有料のごみ袋だけでは限界がある。
冬期間の除雪。大曲工業団地内は入出車両がかなりあり、毎日動いていることもあり、又、時間していで動いているので、除雪がないと大変困ります。
零細企業でも取り組めるような施策や支援を望みたい。現状は、資金力のある企業だけが取組むことが出来たり、支援が受けられることが多い。

特に会社から出る廃品、石油関連から出来る廃品等について。
冬の除雪について。玄関への通路口に車全体の固い雪を押しつけたままにすてう押雪作業、最近特に悪い、は止めて下さい。せめて人力、スコップで自分の道を作れる程度ブルドーザーでの除雪作業をして下さい。雪が溶けるまで積んでおく場所を近くに決めるとか、排雪溝、融雪溝を近くに設け、環境配慮に役立てブルドーザー、ダンプの雪のための走りが少なくなります。家の庭を堆雪場にして時間をかけて運んでいます。積もった雪は納得できますが、車道から押し付けられた固い雪は閉口します。
環境保全の取組を推進していきたい意思はあるものの、設備投資をするだけの資金的余裕がないため、補助金制度の導入を望みます。
空き地、空き店舗の行政対策をお願いします。
札幌から地下鉄を伸ばしてほしい。道路の横などの草を刈ってほしい。だらしない。
渋滞緩和のため市道の整備、輪厚からの輪厚中ノ沢通りと大曲工業団地美しヶ丘線の整備を早急に願いたい。
工業団地では、自主的に緑化や花壇を設置している企業がありますが、もっと積極的に取組むことで、美しい景観になると思います。工業団地は殺伐とした風景になりがちなので市におかれましても、緑化を推進されると良いと思います。
自己搬入廃棄物経理処理の簡素化。
北広島市は札幌市より色々進んでいると思います。良いことです。
市では事業系一般廃棄物として、紙屑(書類・伝票・コピー用紙)の雑紙類、従業員の飲食に伴う弁当ガラ・カップ・麺類器のプラスチック類、衣類、等を受け入れるとしているが、事業所では資源の有効利用等社会的責任の観点より分別を徹底している所だが、市では事業所で折角分別したものはリサイクルで有効利用を図るべきではないか。企業や市民らのゴミの排出者の廃棄物削減の努力は必要だが、市のゴミの減量に対するもっと積極的な姿勢・工夫を求めます。